

年末年始展示イベント「へび」

会期 1月29日(火)まで  
会場 本館展示場内ナビひろば  
※期間内はナビひろばも観覧無料です。  
■関連イベント  
◆ギャラリートーク  
日時 1月14日(月・祝)  
①11時～11時30分  
②14時30分～15時

◆ワークショップ  
「カルタを作って世界のへび」をみてみよう！  
参加者はへび展会場で解説を聞いた後、印象に残った展示物を選び、スケッチやカラーシユをして、カルタを作ります。  
日時 1月14日(月・祝)  
①10時30分～12時30分(受付開始10時)  
②14時～16時(受付開始13時30分)  
集合場所 第3セミナー室  
定員 16名  
※要申込(先着順)・参加無料(当日無料観覧日)申し込み・お問い合わせ先  
情報企画課「へび」展ワークショップ担当  
workshop@dc.minpaku.ac.jp

◆ワークショップ  
「カルタを作って世界のへび」をみてみよう！  
参加者はへび展会場で解説を聞いた後、印象に残った展示物を選び、スケッチやカラーシユをして、カルタを作ります。  
日時 1月14日(月・祝)  
①10時30分～12時30分(受付開始10時)  
②14時～16時(受付開始13時30分)  
集合場所 第3セミナー室  
定員 16名  
※要申込(先着順)・参加無料(当日無料観覧日)申し込み・お問い合わせ先  
情報企画課「へび」展ワークショップ担当  
workshop@dc.minpaku.ac.jp

「やっぱりヨーロッパ——春のみんぱくフォーラム2013」  
会期 1月5日(土)～3月23日(土)

◆パンセミナー(全4回)  
小麦とライ麦は世界の食文化の中で大切な穀物です。ヨーロッパでは多様な形態のパンとして広く利用されています。このパンとヨーロッパの文化との関係をフィンランド、ルーマニア、ドイツ、イタリアの専門家が語ります。  
▼第1回 1月26日(土)  
「北欧のパン——ライ麦パンってどんな味？」  
講師 庄司博史(国立民族学博物館教授)・井上シルッカ(フィンランド料理アドバイサー)

▼第2回 2月9日(土)  
「東欧のパン——礼拝ではワインとごも」  
講師 新免光比呂(国立民族学博物館准教授)  
※2月9日(土)では、ご希望の方(20歳以上)には、ワインをご用意いたします。ただし、参加費の他に別途500円をいただきます。当日は、お車でのご来館をお控えください。  
▼第3回 2月23日(土)  
「ドイツのパン——地方の特徴、そして伝説」  
講師 森明子(国立民族学博物館教授)  
▼第4回 3月9日(土)  
「イタリアの日常生活とパン」  
講師 宇田川妙子(国立民族学博物館准教授)

各回とも  
時間 14時30分～16時(受付開始14時15分)  
会場 国立民族学博物館 食堂(本館1階)  
参加費 一人あたり500円  
対象 中学生以上  
(お子様の同伴はご遠慮ください)  
定員 一回につき40名  
※有料、要申込  
申込締切  
①第1回、第2回 1月11日(金)  
②第3回、第4回 2月8日(金)

◆みんぱく映画会  
「パリ20区、僕たちのクラス」  
日時 1月12日(土) 13時30分～16時30分  
(開場13時)

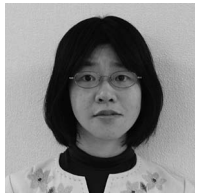
会場 講堂(先着450名)  
※参加無料、申込不要  
◆展示場クイズ「みんぱくQ」ヨーロッパ編  
期間 1月8日(火)～2月3日(日)  
会場 ヨーロッパ展示場  
◆みんぱくセミナー  
左のページをご覧ください。  
◆みんぱくウィークエンド・サロン  
詳細は本誌24ページをご覧ください。  
※このほかにもイベントを予定しています。お楽しみに！  
以上フォーラムについての申し込み、お問い合わせ先  
広報企画室企画連携係  
電話 06・6878・8210

◆国際シンポジウム  
「グローバル化における紛争と宗教的社会運動——オセアニアにおける共生の技法」  
日時 1月26日(土) 10時～17時10分  
会場 第4セミナー室  
定員 70名  
※参加無料、要申込、同時通訳あり  
申し込み・お問い合わせ先  
紛争と宗教シンポジウム事務局  
0126@dc.minpaku.ac.jp

◆国際研究フォーラム  
「バルト海周辺地域の日本コレクションⅢ」  
今回のフォーラムは、昨年6月に実施した「バルト海周辺地域の日本コレクションⅡ」調査に関連し、スウェーデン、フィンランド、デンマークから研究者を招へいて、これまで日本に未紹介だった資料の一端を明らかにします。  
日時 ①2月2日(土) 10時30分～16時45分(開場10時)  
②2月3日(日) 10時30分～16時30分(開場10時)

会場 第4セミナー室  
定員 60名  
※参加無料、申込不要、同時通訳あり  
お問い合わせ先  
研究協力係 在外資料調査研究担当  
nihonzai@dc.minpaku.ac.jp

◆研究部の新メンバー  
藤本透子 助教(民族文化研究部)が2012年12月1日付けで着任いたしました。日本学術振興会特別研究員/京都大学 国立民族学博物館・機関研究員を経て現職 専門は、文化人類学、中央アジア地域研究 著書に『よみがえる死者儀礼——現代力ザフのイスラーム復興』(風響社)、「カザフの子育て——草原と都市のイスラーム文化復興を生かす」(風響社)、「フックレット」(アジアを学ぼう)⑩などがある。



◆展示場リニューアルのお知らせ  
本館展示場「日本の文化」展示のうち「祭り」と芸能」と「すまいとくらし」の二部がこの3月に新しく生まれ変わります。それに伴い、「日本の文化」展示全体が工事のため閉鎖されます。  
閉鎖期間 3月21日(木)まで  
◆休館日・無料観覧日のお知らせ  
年始は1月4日(金)まで休館します。  
1月14日(月・祝)成人の日は本館展示を無料で観覧いただけます。ただし、自然文化園(有料区域)を通行される場合、入園料が必要です。  
※イベントや刊行物について、くわしくはホームページをご覧ください。  
※電話でのお問い合わせの受付時間は9時から17時(土日祝を除く)です。

みんぱくミニナール

会場 国立民族学博物館 講堂  
時間 13時30分～15時(13時開場)  
定員 450名(当日先着順)  
参加費 無料(展示をご覧になる方は、観覧料が必要です)  
第416回 1月19日(土)  
「春のみんぱくフォーラム2013」関連  
ヨーロッパのキリスト教とファシズム  
——ルーマニア・レジオナル運動を中心に  
講師 新免光比呂(国立民族学博物館 准教授)  
深澤英隆(一橋大学教授)  
江川純一(東京大学大学院人文社会系研究科研究員)



よく耳にするファシズムとはいったいどういったものなのでしょう。そしてヨーロッパでは、キリスト教と関係があるのでしょうか。そんなことをルーマニアを中心にしてドイツ、イタリアの事情と比較して考えてみます。

第417回 2月16日(土)  
「春のみんぱくフォーラム2013」関連  
変わるヨーロッパの言語地図  
——多言語「社会から」多言語「社会へ」  
講師 庄司博史(国立民族学博物館 教授)



20世紀後半以降ヨーロッパの多くの国では、移民の増加や地域的少数言語運動の活発化により、さまざまなことが社会のなかで顕在化しはじめています。ヨーロッパはどの一國一言語主義はここにむかうのでしょうか。

友の会

友の会講演会(大阪)

会場 国立民族学博物館 第5セミナー室  
定員 96名(当日先着順、会員証提示)  
第416回 2月2日(土) 14時～15時  
みんぱくコレクションを語る  
明治と昭和初期の樺太資料の収集者たち  
講師 齋藤玲子(国立民族学博物館 助教)  
みんぱくには鳥居龍蔵や石田収蔵らによって収集された樺太の先住民族(ニブフ、ウイルト、アイヌ)の貴重な資料があります。現在、彼らの収集の足跡をたどりながら、資料の情報をあらためて整理しています。その過程で明らかになったことなどを、実際に資料もお見せしながらお話しします。

東京講演会  
会場 JICA市ヶ谷ビルセミナールーム600  
定員 80名(要申込)  
第105回 3月30日(土) 14時～16時  
特別展「マダガスカル 霧の森のくらし」関連  
何処にもある何処にもない世界 マダガスカル  
講師 深澤秀夫(東京外国語大学 教授)  
飯田卓(国立民族学博物館 准教授)

「やっぱりヨーロッパ——春のみんぱくフォーラム2013」関連  
親子ワークショップ「春よこい！」  
(要申込、参加者プレゼントあり)  
みんなで踊ろう！——トランシルヴァニアの踊りと歌  
※踊りと歌の鑑賞だけでも楽しめます。  
1月27日(日) 14時～15時半、参加無料  
会場・EXPO70パビリオン、定員200名  
※内容や詳細は上記友の会までお尋ねください。

第81回民族学研修の旅  
ミヤンマー・タウバン月の祭りを訪ねて  
——仏教と精霊ナツの儀礼  
3月19日(火)～28日(木) 10日間  
※内容や詳細は上記友の会までお尋ねください。

国立民族学博物館 ミュージアム・ショップ

電話 06-6876-3112  
FAX 06-6876-0875  
e-mail shop@senri-f.or.jp  
水曜日定休  
ウェブサイトもご覧ください。  
オンラインショップ  
「World Wide Bazaar」  
http://www.senri-f.or.jp/shop/

フェアトレードのチョコレート

ショップで秋冬限定販売をしているピーブルツリーのチョコレートは、ボリビアの協同組合「エル・セイボ」の力カオ豆を使用した、フェアトレード商品です。エル・セイボは力カオ豆で得た収益を、組合員世帯や地域発展のために還元しており、現在は二〇〇人をこえるメンバーが、自然環境を守るサステナブルな農業をめざし、有機栽培にも力を入れ、発展を続けています。ボリビアの力カオ豆は、スイスで練り上げられ、おいしいチョコレートになって、日本に届けられます。今年も、新しくビターレモンピール味(50グラム)も加わり11種類。  
素敵なキフトボックスなども用意しております。大切な方への贈り物にぜひ、ご利用ください。



フェアトレードチョコレート  
50g 8種類 各290円  
100g 3種類 各580円  
ブロックプリントボックス 300円  
手透き紙封筒 180円

価格はすべて税込